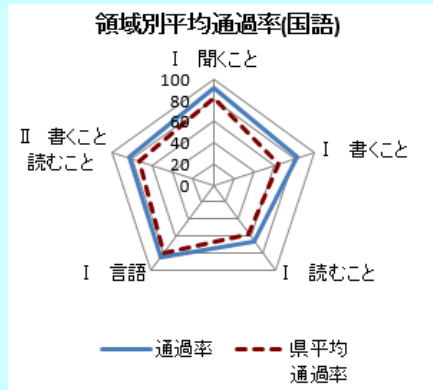


指導方法等の改善計画について (国語科)

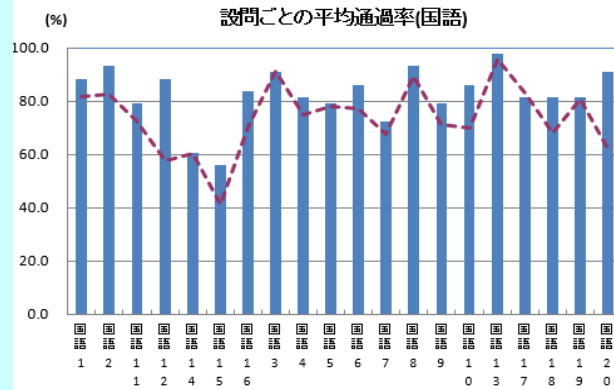
神石高原町立神石高原中学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校82.4%, 県73.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向
国語の結果において、タイプⅠは82.1%、タイプⅡは83.7%の通過率となっている。また、通過率60%以上の生徒は93.0%であり、基礎的・基本的な内容についても、知識・技能を活用する内容についても、ある程度の定着が図れていると言える。
- 昨年度の課題への取組の成果
昨年度は、「書くこと」の「叙述の仕方の確認」において、統合前の3校に課題があり、主語を明確にして話したり書いたりすることを徹底し、推敲する時間を設けて書いた文章を吟味させたりした。その結果、今年度は、叙述の仕方の確認の通過率は88.4%となった。

重点課題

- 【課題1】
・「読むこと」の「段落相互の関係を正しく押さえて読む」力に課題がある。(四-2 通過率60.5%)
- 【課題2】
・「読むこと」の「文章の展開を確かめながら要旨を捉える」力に課題がある。(四-3 通過率55.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

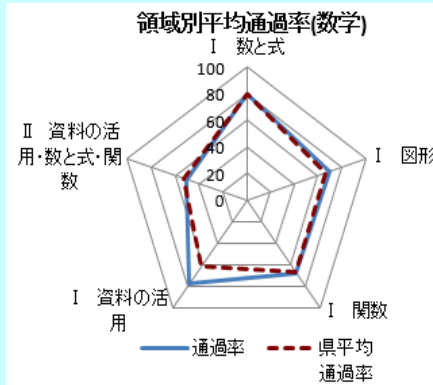
- 【課題1】
・説明的な文章の読解において、全体と部分の関係を意識しながら段落の役割を捉えさせる。また、全体で確認したことを個人で再度振り返らせたり書き直させたりして、定着を確実にする。
- 【課題2】
・文章を読むときに、キーワードの捉え方を理解させ、キーワードに線を引く指導をする。また、キーワードを用いて段落や文章全体を要約する学習活動を取り入れる。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 2年生 2学期中間テスト | 11月 2年生 2学期期末テスト | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 2年生 学年末テスト |
|-------|----|------------------------|------------------------|-----|----|----|---------------------|
| 学年・方法 | | | | | | | |
| 目標値 | | 70.0% | 75.0% | | | | 80.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

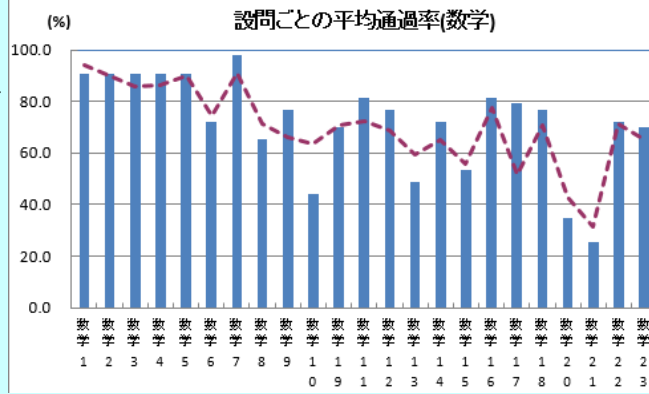
| 【課題2】 | 9月 | 10月 2年生 2学期中間テスト | 11月 2年生 2学期期末テスト | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 2年生 学年末テスト |
|-------|----|------------------------|------------------------|-----|----|----|---------------------|
| 学年・方法 | | | | | | | |
| 目標値 | | 70.0% | 75.0% | | | | 80.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校71.8%, 県70.2%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
 - ・数学科の結果において、タイプⅠは76.3%、タイプⅡは50.6%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられるが、それらを活用する力については不十分である。
 - ・領域の中では基礎的・基本的な「数と式」について通過率が79.9%で一番定着率が高かった。
- 昨年度の課題への取組の成果 (あるいは課題)
 - ・昨年度は、「図形・関数・資料の活用 (タイプⅡ)」において統合前の3校で課題があった。そこで、理由をつけて考えを説明させる場面を増やし取り組んだ。しかし、この領域の通過率は50.6%であり、無答率も高く課題である。

重点課題

【課題1】

- ・「表により与えられた数値や情報を読み取り、自分の考えを数学的な表現を用いて説明する」力に課題がある。題意にあった式を作り出すことができない。さらに、同点であることは説明できているが1位であることを説明できていなかった。(大問10, 通過率25.6%)

【課題2】

- ・「総度数の異なる2つの資料の傾向を比較し、数学的な表現を用いて説明する」力に課題がある。相対度数の意味が分からず割合を出せていない。(大問9, 通過率34.97%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

- ・文章から式を作り出す問題を用意する。各自で考えさせた後、ペアや班内でどのように考えたか説明させる活動を取り入れ説明する力を育てる。

【課題2】

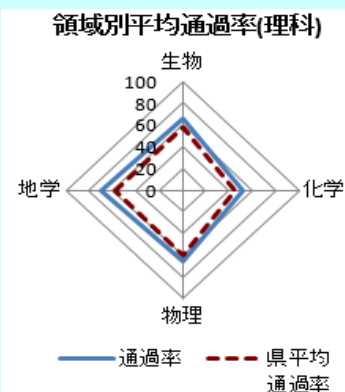
- ・総度数の大きく異なる身近な例を提示し、相対度数の必要性を感じさせる。そして、2つの資料の比較を文章に書かせ、ペアや班内で説明させる。特に、割合の出し方が苦手な生徒に配慮し、割り算の仕方について丁寧に指導する。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|---------------|-----|----|-------------------|-----------------------|
| 学年・方法 | | | 2年生 (類似問題) | | | 1年生 H26「基礎・基本」 | 2年生 H26全国学力・学習状況調査 |
| 目標値 | | | 60.0% | | | 70.0% | 65.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

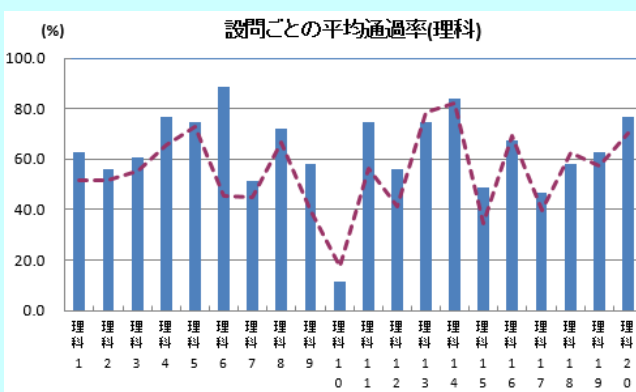
| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|---------------|-----|----|-------------------|-----------------------|
| 学年・方法 | | | 2年生 (類似問題) | | | 1年生 H26「基礎・基本」 | 2年生 H26全国学力・学習状況調査 |
| 目標値 | | | 60.0% | | | 70.0% | 65.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校63.0%, 県55.0%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
 - ・理科の結果において、タイプⅠは69.2%、タイプⅡは53.8%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられるが、それらを活用する力については不十分である。
 - ・領域の中では基礎的・基本的な「地学」について通過率が69.3%で一番定着率が高かった。
- 昨年度の課題への取組の成果 (あるいは課題)
 - ・昨年度は、「地層の広がり方 (タイプⅡ)」において統合前の3校で課題があった。そこで、地層を立体的に捉え、複数の離れた地点の層を対比し、層の広がり方を見出すことに取り組んだ。しかし、この領域の通過率は69.3%であり、「地震の記録による震源距離の推定」の領域に課題がある。

重点課題

- 【課題1】
 - ・内容：溶質の再結晶「水溶液を冷やしたときの再結晶について、溶解度と関係付けてとらえる。」【科学的な思考・表現】力に課題がある。(化学1分野(2)イ(イ) 通過率11.6%)
- 【課題2】
 - ・内容：実験結果の分析・解釈「観察結果から差異点や共通点に気付いたり比較したりして、音の高さを決める要因を見だすことができる。」【科学的な思考・表現】力に課題がある。(物理1分野(1)ア(ウ)、 通過率46.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

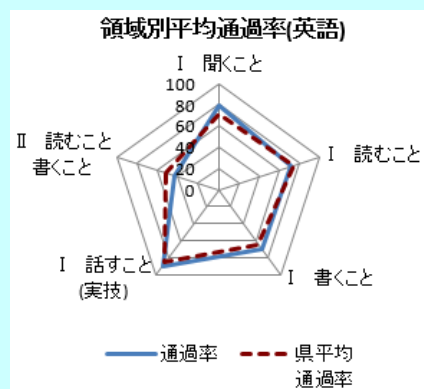
- 【課題1】
 - ・溶質の再結晶にかかわる科学用語について、授業の中で説明したり用語カードを作成したりして正確な理解を図る。また、再結晶について調べたり、学習したりしたことをグループやペアで説明させる活動や一人一人に再結晶についてのレポートを作成する活動を取り入れる等、事象について説明できる力を育てる。
- 【課題2】
 - ・音の性質にかかわる科学用語について、授業の中で説明したり、生徒一人一人に楽器を製作させたりして正確な理解を図る。また、音の性質について調べたり、学習したりしたことを分析・解釈する時にグループやペアで討議させる活動や音についてのレポートを作成する活動を取り入れる等、事象について説明できる力を育てる。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----------------|-----------------|-----|----|-------------------|---------------|
| 学年・方法 | | 2年生 2学期中間テスト | 2年生 2学期期末テスト | | | 1年生 H26「基礎・基本」 | 2年生 学年末テスト |
| 目標値 | | 50.0% | 60.0% | | | 70.0% | 70.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

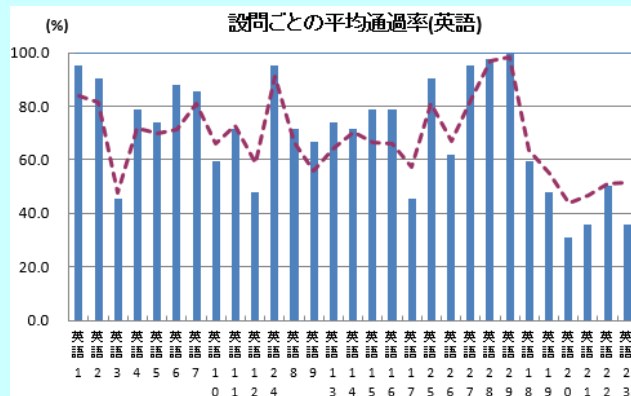
| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----------------|-----------------|-----|----|-------------------|---------------|
| 学年・方法 | | 2年生 2学期中間テスト | 2年生 2学期期末テスト | | | 1年生 H26「基礎・基本」 | 2年生 学年末テスト |
| 目標値 | | 70.0% | 70.0% | | | 70.0% | 70.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校69.7%, 県68.2%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向 (タイプ I, II の状況, よい領域はどこか) について
 - ・英語科の結果において, タイプ I は 76.6%, タイプ II は 43.3% の通過率となっている。また通過率 30% 未満の生徒はゼロであった。この結果から, 基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられるが, 基礎的・基本的な知識を様々な場面で活用する力については, 定着度が不十分である。
 - ・基礎的・基本的な「話すこと」については通過率が 89.0% であり, 定着がかなり図られていると言える。
- 昨年度の課題への取組の成果 (あるいは課題)
 - ・昨年度, 統合する前の 3 校で「読むこと書くこと (タイプ II)」に課題が見られた。また, 複数の英作文を書く問題の正答率は, 低い傾向があった。そこで次の 2 点を工夫して取組をおこなった。① 日々の授業で, 主語・動詞を捉えさせ, 英文の概要を理解させる。② 各単元で, 学んだ表現を使って自己 (他者) を表現する英文を書かせる。その結果, その領域の通過率は 43.3% であり, 無答率も高く依然として定着度に課題がある。

重点課題

【課題 1】

・「根拠をもって考えを伝える英文を書く」力に課題がある。英文としては「No, she can't.」と正答できていたが, その英文にした理由として日本語で記述する際に, ポスターの英文 (キーワード) の内容をくみ取ったものではなく, 会話文の内容だけを読んでいる誤答が多かった。(大問 11-3 通過率 31.0%)

【課題 2】

・「まとまりのある一貫した英語の文章を書く」力に課題がある。女子の友達を紹介する英文を書く際に, 一文の中に一般動詞と be 動詞が混在していたり, 単語が正しくかけていなかったりする誤答が多く見られた。(大問 12-3 通過率 35.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題 1】

・英文と資料 (絵・地図・ポスター等) を関連させた問題を用意して, 授業の中で説明したり, 問題を解かせたりすることを繰り返して理解を図る。その際には教師が一方向的に説明するのではなく, 生徒が自分で解いた答えと理由について, 班内やペアで説明させる活動を取り入れ, 理由を説明できる力を育てる。

【課題 2】

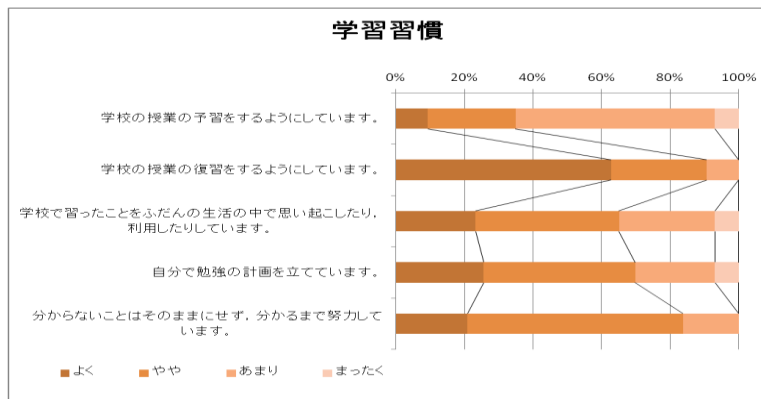
・まとまりのある英文を書かせる学習課題を多く設定する。具体的には, 各単元で学んだ内容・文法事項に関連したトピックを与えてモデル文を提示する。最初に英文作成のパターンを捉えさせてから, 複数の英文を書かせる学習活動を充実する。また, 理解に時間がかかる生徒や書くことに苦手意識を持つ生徒には, 「一文は書こう」から始めて, 書くことへの抵抗感を減らし, 複数の英文を書くことに慣れさせていく。

| 【課題 1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|-----|--------------|-----|--------------|---------------------|----|
| 学年・方法 | | | 2年生 復習テスト | | 1年生 復習テスト | 1・2年生 学年末テスト (類似問題) | |
| 目標値 | | | 60.0% | | 60.0% | 70.0% | |
| 実施後数値 | | | | | | | |

| 【課題 2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|-----|--------------|-----|--------------|---------------------|----|
| 学年・方法 | | | 2年生 復習テスト | | 1年生 復習テスト | 1・2年生 学年末テスト (類似問題) | |
| 目標値 | | | 60.0% | | 60.0% | 70.0% | |
| 実施後数値 | | | | | | | |

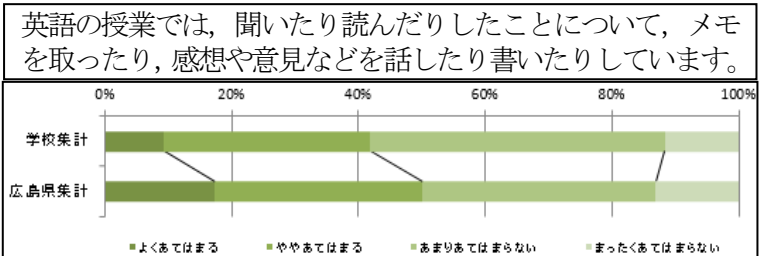
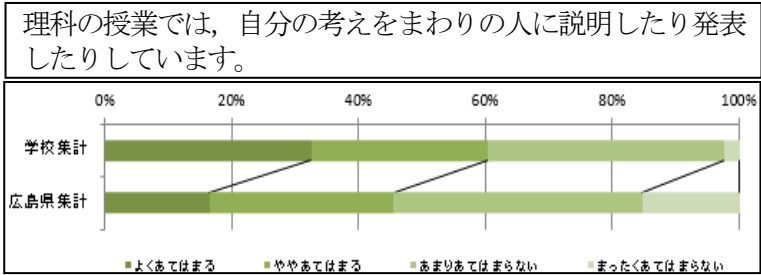
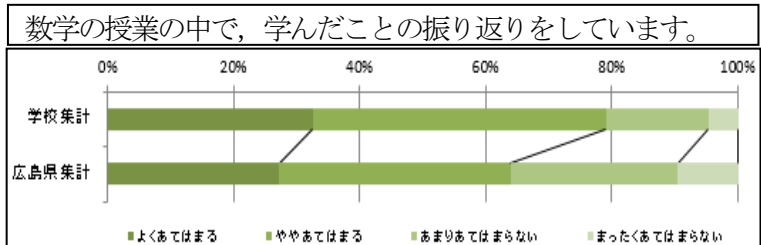
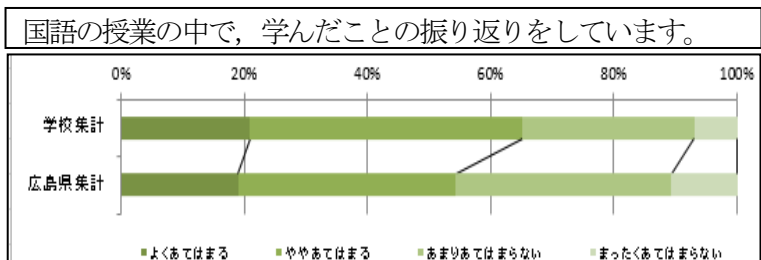
質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

(1) 生活・学習



| 生徒の回答についての課題（現状値） | 今後の具体的な取組の内容 | 学年 | 目標値 | 検証方法 | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|--|--|----|-----|-----------------------|-----------|------|---------|
| 「学校の授業の復習をするようにしています。」の肯定的評価は100%であったが、「学校の授業の予習をするようにしています。」については肯定的回答が34.9%で「よく」と回答した生徒は9.3%しかない。「あまり」と回答した生徒が58.1%もいる現状である。 | 授業で、振り返り後に生徒が課題を見つれたり、もっと学ぼうとしたりするよう授業への意欲付けを行う。また、予習させた内容を反映した場面を授業の中でつくる。自学自習ノートを予習に活用する習慣が定着するよう指導の徹底を図る。 | 2年 | 70% | 自学自習ノートの活用状況及び生徒アンケート | 11月 2月 | | |

(2) 教科



| | 生徒の回答についての課題（現状値） | 授業改善の方向性や具体的な取組 | 学年 | 目標値 | 検証方法 | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|----|--|---|----|------|-------|------|------|---------|
| 国語 | 「国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。」の肯定的回答率は65.1%であった。 | 毎時間の目標をノートや自己評価表に書かせ、授業の終わりに、分かったこと・分からなかったことを書く振り返りの時間をとる。 | 2年 | 100% | アンケート | 2学期末 | | |
| 数学 | 「数学の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。」の肯定的回答率は79.1%であった。 | 毎時間の目標をノートや自己評価表に書かせ、授業の終わりに、分かったこと・分からなかったことを書く振り返りの時間をとる。 | 2年 | 100% | アンケート | 2学期末 | | |
| 理科 | 「理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。」の肯定的な回答率は60.5%であった。 | 授業の中で、小集団や全体で自分の考えを説明させる場を設定し、根拠を示しながら自分の考えを説明することや自分の考えと比較しながら聴くことを指導する。 | 2年 | 100% | アンケート | 2学期末 | | |
| 英語 | 「英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。」の肯定的な回答率は41.9%であった。 | 文章を読み取る際、重要な箇所の下線を引いたりメモを取ったりして内容を整理することや、リスニングの際メモを取りながら聞き取れることを指導する。また授業中に感想や意見を話したりする場を設定する。 | 2年 | 70% | アンケート | 2学期末 | | |

